

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年8月22日

【評価実施概要】

事業所番号	2772001869
法人名	みとうメディカル株式会社
事業所名	みとうグループホーム長居
所在地	大阪市住吉区长居西3丁目6番21号 (電話) 06-6699-0404

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年8月10日

【情報提供票より】(平成19年7月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 15.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000~55,000円	その他の経費(月額)	29,100円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要 (平成19年7月25日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	62歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) 慈心会「あびこ病院」、医) 石井クリニック歯科医院 他2件
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

営利法人が運営するグループホームで、他にデイサービスセンターが併設されています。理念として「地域に愛され信頼されるホームをめざします」「家庭的な環境の下で尊厳あるその人らしい生活をめざします」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしい暮らしを支えていくことを目指しています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。かかりつけ医師と併設のデイサービスセンターの看護師によるサポートが利用者と家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。職員は接遇に関する研鑽も積み、利用者には丁寧でやさしい雰囲気です。利用者には笑顔と落ち着きが見られます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者とリーダー職員で案を作り、他の職員の意見も聞きながら完成させています。サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は包括支援センター、ネットワーク委員、自治会2地区の女性部長、社会福祉法人の施設長、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況、ビデオを使って生活ぶりや課題について報告し、地域との相互交流、防災対策や避難訓練について話し合っています。今後行政の担当者の出席が望まれます。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が訪問する機会が多く、面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えていきます。利用者の健康や安全に関わる事項について必要の都度電話で家族への報告をしています。また今年から2ヶ月毎に「ホームだより」を発行して、行事や生活状況について写真とともに報告しています。預り金の収支と残高については定期的に家族の確認を得ています。今後職員の異動について家族に報告することが望まれます。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、年に2回夕食会を兼ねた家族会を開き意見交換をしています。苦情箱を備え付けており、申し入れがあればすぐに対応する予定です。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営者が地元の人でホームのことは、近隣にもよく知られています。利用者がよく買物に行く近くのスーパーや八百屋とは顔なじみになっています。利用者は地域のふれあい喫茶や食事会にも出席し、買物や散歩の時に知人と出会い会話を楽しんでいます。隣家の住民は、ホーム屋上の庭園・菜園の水遣りを手伝ってくれます。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「地域に愛され信頼されるホームをめざします」「家庭的な環境の下で尊厳あるその人らしい生活をめざします」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らし続けることを支えていくことを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。採用時研修や月例ミーティングで、管理者と職員は理念を共有するべく話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	運営者が地元の人でホームのことは近隣にもよく知られています。利用者がよく買物に行く近くのスーパーや八百屋とは顔なじみになっています。利用者は地域のふれあい喫茶や食事会にも出席し、買物や散歩の時に知人と出会い会話を楽しんでいます。隣家の住民はホーム屋上の庭園の水遣りを手伝ってくれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。職員の研鑽も積み、利用者に対する接遇の態度は丁寧でやさしい雰囲気になっています。利用者には笑顔と落ち着きがみられます。自己評価は、管理者とリーダー職員で案を作り、他の職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。</p>		
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は包括支援センター、地域のネットワーク委員、自治会2地区の女性部長、運営者の知り合いで社会福祉法人の施設長、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況やビデオを使って生活ぶりや課題について報告し、地域との相互交流、防災対策や避難訓練について話し合っています。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営者は地元での薬局経営や介護事業を通じて行政とも相互に意見交換を行い協働関係をつくっていく中で、自らの事業だけでなく業界全体のサービスの質の向上にも取り組んでいます。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の健康や安全に関わる事項についてその都度電話で家族へ報告をしています。また今年から2ヶ月毎に「ホームだより」を発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。預り金の収支と残高については定期的に家族の確認を得ています。今後は職員の異動について家族に報告することが望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、年に2回夕食会を兼ねた家族会を開き意見交換をしています。苦情箱を備え付けており、申し入れがあればすぐに対応する予定です。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年の間に、2人の利用者を看取り、現在も2人の利用者の看取りを前提に見守りを続けています。これによる業務の多忙と多くの職員の退職に対応するため、職員の大幅な増員を実施してきましたが、この間かなりの混乱がありました。全職員の努力で比較的短時間で問題の解決をはかることができています。	○	職員が異動することの利用者への影響の大きさを理解し、今後異動を必要最小限に抑える具体的対策が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や法人内の研修が行われ、OJT(現任訓練)を中心にしたホーム内部での研修も実施されています。採用時研修はトレーナーをつけ、1月間に渡りレポートを提出させる工夫をしています。今後職員の成長に合わせて育成するためにテーマや受講者の選定は計画的に行うことが望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し会員相互の交流・研修会に参加しサービスの質の向上を目指し研鑽に努めています。運営者は地域の同業者との交流を実施するべく働きかけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の家庭訪問やホームの見学、体験入居を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き安心して入居しサービスを受けられるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者が孤立することなく安心して日々の生活を送れるよう、それぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き活きと活躍できるよう支援しています。元保育士だった利用者からは子育てのコツを教えてもらい、魚や野菜の目利きの利く利用者からは買物時に教えてもらっています。調理の味付けが得意な利用者や、行事や会議の開会宣言を得意とする利用者もいて、利用者が生き活きとし、生活を楽しむような取り組みを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め支援しています。毎日喫茶店に行きたい利用者、好みの食材をスーパーに行きたい利用者、神信仰に熱心で定期的に家族と一緒に神社に行きたい利用者等利用者の思いや意向に合わせた生活を支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式による過去の生活歴の把握結果と、利用者の現在の暮らしや、心身の状況からアセスメントを行い、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、カンファレンスを経て計画を作成し、家族の同意を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをすることになっています。しかし、介護計画にある援助内容を実施しながら、項目毎に定期的にモニタリングを行い、利用者と家族の意向を聞き、全職員でカンファレンスを行いながら介護計画の見直しにつなげていくという業務の流れが確立されていません。	○	介護計画の見直しにあたっては、実施した援助の結果を項目毎に定期的にモニタリングをし、利用者と家族の意向を聞き、全職員でカンファレンスを行うことにより、介護計画の見直しにつなげていくことが求められます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスセンターの看護師と連携し利用者の状態に合わせて必要な看護指導を受けています。地域のボランティアも受け入れています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望により以前からのかかりつけ医師（医療機関）に引き続き医療を受けている利用者が多く、通院介助をするとともに往診もあります。協力病院と連携し夜間や急変時の対応についての体制整備も整っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	この1年の間に、2人の利用者を看取り、現在も2人の利用者の看取りを前提にして見守りを行っています。利用者・家族と医師との話し合いや、利用者・家族とホームとの話し合いを受け、医師の助言と指導により対応しています。利用者の状態に変化があれば、家族と医師の意向を再確認しながら方針を共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。利用者の生活習慣にあわせ朝食は利用者の好きな時間帯にとることが出来ます。お風呂の好きな利用者が多く、日曜日以外は夜間を含めていつでも何回でも入浴が可能です。散歩や買物も利用者のペースで外出できています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の希望を聞きながら作った献立表に添い、買物から調理、後片付けにいたる一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お風呂の好きな利用者が多く、日曜日以外は夜間を含めていつでも入浴が可能です。希望すれば毎日でも入浴ができています。季節に応じてゆず湯や菖蒲湯などの変わり湯を楽しみ、手浴、足浴から徐々に安心して入浴している利用者もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の場面での役割や洗濯物たたみやアイロンかけなどの家事での役割、屋上の庭園・菜園での園芸での役割等をこなし、書道・レース編み・細かい手細工等を楽しむ利用者がいます。ただ全体的にみると、利用者の生活歴を聞き取り、利用者の個性を活かした役割や楽しみごとの把握が十分でなくその人らしい支援に至っていません。	○	利用者や家族の協力を得て生活歴や、利用者の個性、得意なこと等を聞き取り記録に残しながら、それらの情報を元に利用者の役割や楽しみごとに活かしていくことが求められます。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出支援が積極的で、毎日の散歩や商店街・スーパーで買物をしたり、なじみのカラオケ喫茶や喫茶店に行ったり、近隣の大規模な公園、神社仏閣に行ったり、外食やデパート見学等を楽しんでいます。季節毎の初詣や祭り、花見にも出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの前が幹線道路ということもあり、安全面の配慮からでしょうが、入口玄関のドア、フロアドアには電子ロックで鍵がかかっています。	○	利用者の自由な暮らしを支え、利用者や家族に心理的拘束感を与えないように日中だけでもドアをロックしないことが求められます。外出したい利用者が外出できるよう、暗証番号を表示するなどの工夫をされてはいかがでしょうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、5月に消防署の協力を得て避難訓練を実施し、11月にも訓練を予定しています。食料と水の備蓄については冷蔵庫や冷凍庫、収納庫、水タンクでの在庫があり、最低限の量は確保しています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成しておくことが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量について記録をとっています。栄養バランスについては併設のデイサービスセンターの栄養士からアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りには季節の花、植栽があり、観葉植物、装飾品や絵画が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームは明るく、茶色系の色調で大変落ち着いた雰囲気になっています。食卓以外にソファやベンチが置かれ寛げる居場所も確保されています。リビングには季節の花、配膳台、本やレクリエーション道具棚、家事道具、新聞などがあり、廊下突き当りには今年仕込んだ梅酒、プラム酒、梅干し壺等が家事道具と一緒にさりげなく置かれ、家庭的で生活のにおいのする共用空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者はそれぞれ、ベッド、タンス、冷蔵庫ソファ、椅子、飾り棚、神棚、仏壇、遺影、装飾品、家族の写真、テレビ、使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込んでいます。畳表の上敷きをひいて座敷机を置き純和風の部屋にしたり、固定電話や携帯電話で外部と連絡をとったり、居室で花を育てたり、ベランダでミニ野菜を育てたりして、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		